

# 湖畔 第102号

平成24年 1月発行

## 介護老人保健施設 レイクビューさめうら

TEL 0887-82-0117 FAX 0887-82-2898



新年明けましておめでとうございます。平成二十四年の念頭にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

老人保健施設レイクビューさめうらは利用者、ご家族並びに地域の皆様方に支えられて、十七年目を迎えることができました。御支援をいただきました皆様方に感謝しますとともに心よりお礼申し上げます。

さて、昨年は、東日本大震災とそれに伴う原発事故が列島を震撼させました。また、被災地で苦境に耐えながら助け合う人々の姿は世界の共感を呼び、多くの人が「絆」を胸に感じながら支援や復興に心を砕きました。県内においても南海地震の発生が近づいていると心配されています。改めて、安全な日常生活、そしてその日々を継続することの大切さを考えさせられます。

世界でも「アラブの春」や格差是正を求める各国のデモ、欧州危機や、北朝鮮最高指導者の交代など時代の転換を感じさせる一年でした。

介護保険制度も今年四月には改正されますが、今後も、地域との連携を深め、①利用者の体力向上あるいは現状維持を可能にできる職員の力量アップ、②まだ施設を利用していない人たちにリハビリ体験をしてもらえなど拡大へと門戸を広げた活動の展開をして行かなければと考えます。

皆様が生まれ、住み慣れた土地で暮らしていけるように生活を支えられる、「身近な老健施設」でありたいと思っております。

まだまだ寒い日が続きます。皆様方にはご自愛いただき変わらぬご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



新春ごあいさつ  
医療法人 十全会  
レイクビューさめうら  
施設長 古賀眞紀子



おは歳第まし でかたすんり三さて の中たでな 婦思し自舞再ら引へ  
か二、一、た夫のっこ。まらん。満翌持の人しり結につた転踊々でき入本  
ゆ歳満便又がは異たとけ大してあ近州年っこ。たた婚もて。車を学も取学山  
なで州で夫、負国、かどきた暮りく国にてと。いは大暮ら店し校間らの町  
の。を国ど国兵の。友そおし自市連女るの。々言和にす間継いきう合ま両六  
配帰話すこにと生。達の腹安ま由場にの。一たと道う十さのをぎまてうし番  
給国するで残な活長も時をだしにが渡子番の思で人五れよあ、すい距たが目  
ものよこどしり。男いもしらた行ありに良でつすが年ま一つ結。ま離。相と  
時途うとうた、やがなそ、け。けりま恵い結てれお二しとら婚そして学次して  
々中にな妻先が生かの軍であ、しま着婚い違る十た言えしのた、校いて  
あでななつ子にてまっ後歌するア魚たれ物式たう。歳。わ、後。祖はで誕  
りはつりに日終れたも歌た日パ。、をはそ優とのれ一姉、こ父サ亡生  
ま、てまか連本戦小しどつが夫し野大間着出のし人時、こ夫婦の母イくし  
しにいしわ絡にをさ、んて、がト菜連もて来人そをで祖こ婦がこがレなま  
たぎまたかが帰迎ななの仕出の等はな嫁までう介す父がと母ろ様ンりし  
りし。ら取さえ子じに見方世二の都くぎせしなし。母、の、か子が、た  
で飯た長ぬれれま供め心送あ軍階店会夫まんた垢て一。同怜暮実らを鳴祖。  
も、。女まぬてしとも細りり人でもでのし。ぬ。様のら家、見っ父小  
ン男四、ま。人なつせな子く事。分争し話に姉家しの日にて母学  
夫とま池本 かに

人生点描  
入所利用者  
桑名怜子様 九十二歳  
大正八年十二月十日生  
連載第四十二号



夫婦仲良く



3つの名取となりました

六め子産い食ま大ど れ近どど せーりた着は耳いをが混うん一  
十ま育まで堂終ま連、何ま所栄れ本んあま。く背をた置つ乱でだこれ  
歳してれご“戦あへ元十しの養程山であし食ま中ふ。いたの。ろから  
をた終たひよかり旅気年た人失安へしこた。べでかさどて。中あうら  
前。わ二いしらました内過 ちとなた。子そも子子、したれの頃。ど  
にそつ男き乃五した事にぎ がなた。はのだ供供心て人て帰の。う  
しれたが頂”くた。がと、 栄り事とき 死内んをををもも行国事となる  
てかー大いを七。がと、 あ子あ 養、かき はん背だ降降ふそいか。思毎  
一らと学て経年後 り供り なるに歩。は だ中ん少ろろさうたれ中い日ん  
名は思を繁營後 たりま なるも皆。は 一の少ささいす。た国出人恐ろ  
取好い卒繁盛まは ますり するもの。物出子喜 思供くいかのし供もはたしう  
一なあす致した農 暮す気 を来はん でとま無で た動り決た国な物た男もう。  
宣言をさとま。職らすで、せ事く けか乳め。でいと。の。あて。  
。とり同し従員、 たでか 良んでれ どのなもて本す人替泣子り、ど  
子芸と時た業、 わがたし はみ閉のに人は のでれ しくしり。も子。ゆる

すせ。で娘さんより戦争時、苦労した人だから今で幸  
聞き手 五階 介護福祉士 上地いつ子  
しな人 持悲とつれだた ではだはたらくがた花ドし婚こ温 けだんき取て一  
たり暮八ち惨残。おつ時夫ま金。一と互す挨。嫁レた札と厚夫もことんとなげ今更  
よしまし歳す。とまなつ病骨た、はし婚。だ思いをいをいにてを、娘真あ人七当し、何った？  
ーとたは無過とでりら。を九。花っ、すた境ち嬉てはちなま私歳にの貢。ンおらかと驚きま  
言。無理とたあま骨時とも歳 嫁たあ。わ遇ーし夫タがいせにの。過。本山イエイアていたが  
わ穩ぎとたつりしは太思ぎで 衣そん。りに私かはキ手こんは時。癌できのア。き時くたは夫  
れやとたつりしは太思ぎで 裳うなとああ達つ只シ配と。過。癌できのア。き時くたは夫  
す。笑、られ。何のあしれまし 着す夫うてま婦の笑ドてら婚た宣たが敬た老会思人たは好  
顔。現、ま。甥とにた。夫はこ。人がが年そいえるくウ歩んなにいだれエエ希時嘩た。は引す。おつや  
一は倒。が事。が形で銃銃茶の。夫。後よき、んなにいでまけまデ希望の。振つ。張イ弟  
私施など。形で銃銃茶の。夫。何も山た供こ人親すでしンした。グま、たは 付り  
幸暮が。見し弾弾毘に。人本つで二両まけまデ希望の。振つ。張イ弟 付り  
せせらあり。堂二ふ。お町んたらだを。した。グま、たは 付り  
と。々。さ。とれ

